学校番号	１１２

令和２年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　ON！１」　（音楽之友社）						
副教材等	ギター・テキスト、自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。
●　学習の到達度は、実技テストやワークシートで評価します。
●　音楽の学習は、何よりもまず「進んで取り組もう」という姿勢を持つことが大切です。熱心に取り組み、練習を重ねた演奏は、上手・下手を超えたところで聞く人の心を打ちます。「心に届く演奏」が出来たとき、演奏者の心にも深い充実感が生まれます。この充実感は、合唱や合奏で美しいハーモニーを体感できたときにも訪れます。「音楽をする喜び」とはこの充実感を感じることに他なりません。多くの皆さんにこの充実感を味わってほしいと思います。

２　学習の到達目標

幅広い音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を多く作り、音楽文化についての理解を深める。
音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら表現をしていく能力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについての表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	声に出して歌おう	【歌唱】 「翼をください」 「花は咲く」 「少年時代」 「とびら開けて」 (斉唱・日本語)	○	○	○		a:歌う喜びを感じ、主体的に歌の学習に取り組もうとする。 b:リズム、メロディ、強弱などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて表現するために必要な歌唱の技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを弾こう	【器楽】 ・チューニングの方法 ・弾き方の基礎 ・ハ長調の音階	○		○		a:ギターの音色に関心を持ち、基礎的な奏法を身に付けることに主体的に取り組もうとしている。 c:技術の基礎となるハ長調の音階を、ファースト・ポジションとi、mのアポヤンド奏法で弾ける技術を身に付ける。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファースト・ステップ	【鑑賞(DVD鑑賞)】 バレエ「ボレロ」 (ジョルジュ・ドン、20世紀バレエ団、モーリス・ベジャール振り付け)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色やリズムの特徴とその音楽的効果に関心をもって楽曲を聴こうとしている。 d:音楽と身体表現の関わり合いに関心を持ち、同時に優れた踊り手によって作り出される緊張感ある舞台の美しさを感じ取って鑑賞している。	観察 ワークシート
二学期	イタリア語の歌を歌おう	【歌唱】 「Caro mio ben」 「O sole mio」 (斉唱・イタリア語)	○	○	○		a:イタリア古典歌曲成立の歴史的・文化的背景に関心を持ち、歌う学習に積極的に取り組む。 b:リズム、旋律、強弱などを知覚し、それらの関わりが生み出す雰囲気を感受しながら、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝える歌唱の技法を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	合唱の響きを求めて	【歌唱】 「民衆の歌(混声四部)」 ～ミュージカル「レ・ミゼラブル」より	○	○	○		a:声を合わせる活動に関心を持ち、合唱の学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律とハーモニーの関わりを知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫している。 c:歌詞の内容と曲想を関わらせて感じ取り、歌唱に必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターを弾こう	【器楽】 ・ハ長調のスリーコード ・「チョプスティック」(二重奏)	○		○		a：ギター演奏の新たな技術に関心を持ち、その習得と発展に主体的に取り組もうとしている。 c:C、G7、F（簡略形）のコードが弾けるようになり、メロディとコードによる伴奏の両方が弾けるようになる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	西洋音楽の歴史を知ろう	【鑑賞】 ・グレゴリオ聖歌「ディエス・イレ」 ・「ブランデンブルク協奏曲第2番」(バッハ) ・「交響曲第9番 『新世界から』」(ドヴォルジャーク)	○			○	a：西洋音楽の歴史に関心を持ち、時代による音楽の変化を感じ取って鑑賞している。 d：それぞれの時代による音楽のスタイルの違いを知覚し、その時代の持つ雰囲気を感受しながら、音楽の美しさを様々な角度から味わって聴いている。	観察 ワークシート
三学期	ヴォーカル・アンサンブルを楽しもう	【歌唱】 「島唄」(二重唱) 「オペラ座の怪人」(二重唱)	○	○	○		a:仲間と声を合わせる活動に関心を持ち、自分たちで表現を工夫することに主体的に取り組んでいる。 b:メロディの流れにのり、言葉の乗せ方を工夫し、曲想を歌詞の内容に関わらせて表現しようとしている。 c:少人数のアンサンブルが美しく響くよう、各パートのバランスを考えながら歌う技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	ギター・アンサンブルを楽しもう	【器楽】 「Stand by me」	○	○	○		a:今まで学んできたギターの奏法に関心を持ち、個人の技術の向上に励むとともに、グループ学習を通じて一つの音楽を作り上げることに主体的に取り組んでいる。 b：メロディ、コード、ベースラインの３部に分かれて構成されている楽曲の仕組みを理解し、どのように演奏するかについて明確な表現意図を持って練習している。 c:グループの一員として、アンサンブルを完成させることができる技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本の伝統音楽を聴こう	【鑑賞】 長唄「京鹿子娘道成寺」 催馬楽「更衣」	○			○	a:我が国の伝統音楽に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、西洋音楽との違いを感受しながら、伝統音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について

a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫

c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。